

会議の開催結果

1 会議名	令和6年度 新居浜市行政評価委員会 外部委員会						
2 開催日時	令和6年8月9日（金）13時00分～17時00分						
3 開催場所	消防防災合同庁舎3階会議室						
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長挨拶 3 委嘱状交付 4 委員紹介 5 委員長、副委員長選出 6 委員長挨拶 7 会議の公開の確認 8 新居浜市行政評価制度の概要と外部評価の進め方について 9 施策評価 10 閉会 						
5 公開（全部・部分）・ 非公開の別	全部公開						
6 部分公開又は非公開 の理由							
7 傍聴人数	0名						
8 問い合わせ先	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">(担当課名)</td> <td style="text-align: center;">(電話)</td> <td style="text-align: center;">(内線)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">総合政策課</td> <td style="text-align: center;">65-1210</td> <td style="text-align: center;">2808</td> </tr> </table>	(担当課名)	(電話)	(内線)	総合政策課	65-1210	2808
(担当課名)	(電話)	(内線)					
総合政策課	65-1210	2808					
9 その他							

令和6年度新居浜市行政評価委員会 外部委員会議事録

- 1 開催日時 令和6年8月9日（金）13:00～17:00
- 2 開催場所 消防防災合同庁舎3階会議室
- 3 出席者 委員4名
倉澤委員長、太田副委員長、白井委員、山崎委員
説明者
企画部長、福祉部長、経済部長、建設部長
こども局長、環境エネルギー局長
他担当者
事務局4名
総合政策課 松原、相坂、宗村、宮内
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議内容
 - 1 開会
 - 2 市長挨拶
 - 3 委嘱状交付
 - 4 委員紹介
 - 5 委員長、副委員長選出
 - 6 委員長挨拶
 - 7 会議の公開の確認
 - 8 新居浜市行政評価の概要と外部評価の進め方について
 - 9 施策評価
 - 10 閉会

6 議事録

	<ol style="list-style-type: none">1. 開会 事務局より開会のあいさつ2. 市長挨拶3. 委嘱状交付
--	---

	<p>4. 委員紹介</p> <p>5. 委員長、副委員長選出 委員長は倉澤委員、副委員長は太田委員に決定</p> <p>6. 委員長挨拶</p> <p>7. 会議の公開の確認 部評価委員会は公開することに決定</p> <p>8. 新居浜市行政評価の概要と外部評価の進め方について 事務局説明</p> <p>9. 施策評価実施 まちづくり目標1 子育て・教育「1-1子ども・子育て支援の充実」 ＜こども局長説明＞</p>
委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。
委員	待機児童数が0であるが、現在の課題はなにかありますか。現状を伺います。
福祉部 説明者	4月1日時点では待機児童はいません。また、施設のハード面については足りていると思っています。しかし、年度途中の入所希望の方、特に育児休暇中の希望は0～1歳児となっており、本市の0～1歳児は年度初めで100%に近い入所数となるため、保護者が希望する園への年度途中の入所は難しいのが現状です。
委員	着実に取組が行われているように見えるが、水面下で課題が顕在化しており、令和6年度、令和7年度にかけての取組を伺います。
福祉部 説明者	令和6年4月から子ども家庭センターを開設しており、こども未来課中で相談等を受けた内容をできるだけ連携して対応できるようにしております。相談内容の件数だけでなく、内容の質を上げていくことができればと考えています。

委員	外国人の一人親家庭の方で対象となる方はいるのか伺います。
福祉部 説明者	外国人保護者の判断自体は、名前での判断になりますが、本市にも多くいらっしゃって、その中でも、一人親の家庭なども一定数おります。 外国人、日本人という隔てはなく支援を行っております。
委員	「子育て支援拠点施設利用者の満足度」と「児童虐待重大事案発生件数」について、今行っているどの施策が達成されたから、成果指標の数値が向上したなど、何と結びついているかわかる成果指標を使うべきではと考えました。
委員	ファミリーサポートについて、制度を知らない方も自分の周りにいらっしゃり、もっと周知をしていただきたいと思います。 また、ファミリーサポートを利用した際の支払いが現金払いだったので、振込などにさせていただくと、さらに使いやすいと思いました。
委員長	では、これまでのことについて、外部委員会の評価としては、事業内容や数値の把握を行っているため「適正な評価が行われている」と決定します。 まちづくり目標2 健康・福祉「2－4高齢者福祉の充実」 ＜福祉部長 説明＞
委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。
委員	要支援・要介護認定者数のうち在宅生活者数の7, 200人の数値目標の根拠を伺います。
福祉部 説明者	要支援・要介護認定者数が増加する中で、在宅で生活を続けられる高齢者を増やすことを目標に、年間で50人から60人程度の増加を目標といたしまして、現況値から計算し目標値を7, 200人といたしました。
委員	高齢者の分母が増えているが、要支援・要介護認定者数の割合の増減はどうなっているのか伺います。

福祉部 説明者	本市の65歳以上の第1号被保険者数のピークは令和元年でした。人口が減っていく中で、65歳以上の高齢者数も元年から減少傾向にあり、在宅の要支援・要介護認定者数の割合は増えているといえます。
委員	成果指標に関しては、人数ではなく割合についても指標にすることで取組状況がわかりやすいのではないかと考えます。
委員	家族介護者慰労金支給事業（介護特会）と家族介護者慰労金支給事業の二つの事業の役割を伺います。
福祉部 説明者	二つの事業でおこなっている内容は同じですが、予算が変わってきます。家族介護者慰労金支給事業（介護特会）については、介護サービスを受けずに在宅で生活をしている要介護者に対する事業となっていますが、対象者が非常に少ないです。
福祉部 説明者	ただ、令和6年度から緩和措置として、介護保険の住宅改修や福祉用具の貸与等は利用していても対象にしようという案も出ており、人数が複数人に増えると予想しております。
福祉部 説明者	もう一方は、介護サービスを受けている受けていないに関係なく、要件に該当すれば対象となる内容となっているため、実績人数も多くなっております。
委員	包括的継続的ケアマネジメント支援事業について、介護支援専門員が多数退職され、地域ケア会議検討事例数が減っているとなっているが、現状を伺います。
福祉部 説明者	一昨年度、複数の介護支援専門員の退職があり、昨年度は、新任職員が多いなかで事業を行ってまいりました。今まで、毎月3件12カ月で行っていましたが、不慣れな職員が多くなったということもあり、3カ月に1回行い、3カ月で3件のペースで実施させていただきました。
福祉部 説明者	今年度は、2カ月に1回のペースにし徐々に元のペースに戻るよう検討していきたいと考えております。
福祉部 説明者	介護支援専門員は新たに補充が出来ており、人員的には問題ありませんので、経験を経て元の実績値に戻ると考えております。
委員	現在、介護ロボットに対する事務事業は行っているのか伺います。

福祉部 説明者	従前は毎年要望を行っていましたが、今年度、昨年度については行っておりません。
	県の補助事業がございまして、市内の事業者に要望調査を行っており、過去に実績はありますが、近年は要望がない状態です。
委員長	では、これまでのことについて、指標設定について指摘されおり、今後、指標の工夫が必要でないかとのことで、外部委員会としての評価としては、「概ね適正な評価が行われている」と決定します。
	<p>まちづくり目標3 経済・雇用「3-5 農業の振興」</p> <p>＜経済部長説明＞</p>
委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。
委員	成果指標の地産地消協力店について、具体的にどのような店のことを指すのか伺います。
経済部 説明者	新居浜市産の農畜産物、水産物及びそれらを使用した加工品を一定量取扱う直売所であったり、量販店、小売店、料理飲食店、宿泊施設、観光施設、食品加工製造事業者等を市長が協力店として指定しているという制度を設けており、現在ご協力いただいているのが11店舗となっております。
委員	地産地消協力店の対象は広く感じるが、現状11店舗と広がっていない理由はどこにあるのか伺います。
経済部 説明者	農業の生産量の絶対量及び販売をする農家さんの数も少なく、自家消費という農家さんが圧倒的に多く、他社にまで、新居浜市産のものが回ってきていないという現状が新居浜市の農業の大きな課題としており、そこが増えない大きな理由ともつながるととらえています。
委員	今の問題について、より具体的に、農家さんが協力してくれるとメリットがあるという事業を作っていければと思いました。
	安定供給をしてもらう価格や、受け入れ先、システムがあれば、協力してみようかなと気になる生産者の方も増えると思います。

委員	<p>成果指標の認定農業者数について、新規の希望者は県外からの移住者が多いのか、それとも元々県内で農業経験がないがやりたいという方が多いのか、実際のニーズについて伺います。</p>
経済部 説明者	<p>最近の就農相談状況ですが、令和5年度が最も多く16名の相談がありました。例年、県外から戻ってきて農業を始めたい方や、祖父の土地を利用して農業を始めたい方が多く、実際に新規就農者として活動している方もいます。ただ、農業を辞める方も多いため、全体の数は増えていません。</p>
委員	<p>肥料価格高騰対策事業費補助金について、事業名と指標の整合性を持たせるため、事業名を変更することも考えた方が良いのではと感じました。</p>
委員	<p>地産地消協力店に関して、スーパーなどに産直品を出す農家さんもありますが、ラベル代やマージンが高く、事業として成り立たないと感じる方もいるようです。市としてそうした部分への補助が難しいかもしれませんが、何らかの支援があればいいと思います。</p>
委員	<p>スマート農業推進事業補助金について、推進グループの規模とどんなことを行っているのか伺います。</p>
経済部 説明者	<p>スマート農業推進グループが大島の七福芋もを中心に活動しています。グループメンバーは、七福芋本舗、ソフトバンク、ハートネットワーク、七福芋ブランド推進協議会の4社で成り立っています。今後は他の作物にも展開する可能性があります。現時点ではグループの規模や活動内容は限定的ですが、将来的には広がることを目指しています。」</p> <p>外部委員会としての意見は、事業内容に関して指摘があり、今後、事業の工夫が必要でないかとのことで「概ね適正な評価が行われている」とします。</p> <p>まちづくり目標4 都市基盤・防災・防犯・消防「4-2道路の整備」 <建設部長説明></p>
委員長	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。</p>

委員	総合評価がBの理由を伺いたい。
建設部 説明者	県内と比べると、整備率が少し劣っているおり、橋梁につきましては、今後、大きな橋梁になってくると、補修費用も多くなり、今年度もう少し伸ばしていく必要があると考え、Bとしました。
委員	現在の成果指標では見えない課題があり、今後、成果指標を置き換えていく必要があるのではないかと思います。
委員	橋梁長寿命化事業について、成果指標の目標値が年によって増減しています。通常は目標値が増えていくのが普通と思いますが、これはなぜか伺います。
建設部 説明者	橋梁長寿命化事業の目標値について、その年度内に補修する橋梁数を目標としています。全体的な総合評価では累積の数を見ていますが、個別の評価では年度ごとの目標と実施数を比較しています。橋梁ごとに費用が大きく異なるため、大規模な橋梁を補修する年度は件数が減少しますが、全体としては数を増やしていきたいと考えています。
委員	交通安全に関連する事業について、例えばカーブミラーが倒れた事故などがありました。定期的な点検は行っていると思いますが、これは例外的な事故だったのか伺います。
建設部 説明者	カーブミラーは道路の附属物で、橋梁のような重点的な管理対象ではありませんでした。数が多いため、完全に管理できていなかったのが実情です。今回の事故を契機に、より計画的に補修を進められるよう管理台帳の整備を進めています。
委員	県道の渋滞解消と通行の安全確保に関して、優先順位は決め方について伺います。
建設部 説明者	国道や県道の管理は国や県の管轄であり、優先順位や整備の方針もそれぞれが決定します。渋滞状況や市民からの要望をもとに、整備をお願いする形になります。新居浜市では主要幹線道路の期成同盟会を作り、県や国に要望を伝えています。

委員	交通事故発生件数を成果指標に挙げていますが、道路の整備が進むことで事故が減少するという検証として適切な指標と言えるか伺います。
建設部 説明者	交通安全対策の究極の目標は事故ゼロですので、事故件数の減少が成果を表す指標と考えています。ただし、個別の道路整備と事故件数の因果関係を明確にするのは難しい場合もあり、総数での比較となります。
委員	交通安全の成果指標として事故件数を使うのは妥当ですが、道路整備の効果を直接評価するのは難しい面もあります。危険箇所の改善や歩行者と車両の分離など、具体的な改善が事故減少につながることを考慮して指標を設定してもよいかもしれません。
委員長	交通事故の指標に関しては問題があるものの、現時点では他に適切な指標がないことを考慮し、「概ね適正な評価が行われている」とします。
	<p>まちづくり目標5 人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ 「5-4 近代化産業遺産の保存活用。整備の充実」 <市民環境部長説明></p>
委員長	質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。
委員	塩田文化に関する学習の参加者の理解度についてですが、具体的に誰にどのような理解度を測っているのか、またアンケート調査などを行っているのか、その母数について伺います。
企画部 説明者	塩田文化に関する学習は、多喜浜公民館や多喜浜校区で実施されています。参加者の理解度は、『理解できた』、『やや理解できた』という回答を集計したもので、公民館で配布されたアンケートの結果に基づいています。令和5年度では回答数は16件、理解度は『十分理解できた』が8件、『ある程度理解できた』が8件で、理解度は87.5%です。全体の参加者数は約601名ですが、アンケートは団体の代表者に記入してもらっています。
委員	公民館が実施しているので、中高年層が多いのか、学校と連携して小学生が多いのか、参加者層はどうなっているか伺います。

<p>企画部 説明者</p>	<p>参加者層について、団体として来る場合が多く、小学生が30~40人単位でまとまって来ることが多いです。ただし、アンケートは団体の代表者のみが記入しており、参加者全員が回答するわけではありません。塩田文化の理解度を深めることと後継者の育成の両方に力を入れています。</p>
<p>委員</p>	<p>後継者の育成という目的に対して、具体的に何を狙っているのかが明確でない印象があります。後継者の育成が目的なら、それに対応する事業が必要だと思います。</p>
<p>企画部 説明者</p>	<p>現在の事業は地域団体への補助事業として行われており、16名のメンバーが活動しています。目的は塩田文化を後世に伝えることです。その手段として後継者の育成が含まれていますが、具体的には学習参加者に対するガイドや指導員の育成を目指しています。</p>
<p>委員</p>	<p>文化を維持することは非常に重要です。後継者の育成やガイドの教育訓練プログラム、さらに小学生だけではなく、大人の担い手を育てるようなプログラムを検討しても良いかと考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>別子銅山関係情報発信回数について、令和5年度に数が増えた理由について、来館者数やマップ配布数が含まれているとのことですが、成果指標として、発信回数が適切な表現かどうか、検討の余地があるかと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、指標について指摘のあった、この施策については「一部適正性に欠ける」との評価とし、今後指標の設定や改善に取り組んでいただきたいと思えます。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>まちづくり目標6 気球環境・生活環境・上下水道 「6-1地球環境の保全と継承」 <市民環境部環境エネルギー局長説明></p>
<p>委員長 委員</p>	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。 市民が削減に貢献した実感を持てるように、例えばポイント制で評価する仕組みや、年に1~2回でも市民全体の効果をフィードバックする方法があると良いと思えます。これにより市民の意識が高まり、より積極</p>

	<p>的に取り組む動機づけになるのではないのでしょうか。市民の意識の高さを評価するような成果指標もあれば良いと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>低炭素化は長期的な結果として現れるため、毎年の指標で政策の効果を明確にするのは難しいと思いますが、それでも温室効果ガス排出量という指標は必要です。市民の個々の行動や自治体だけの取り組みには限界があり、国や県、事業者が連携して取り組まないと難しい面があります。成果指標としては、市の関与部分で削減できる範囲をカバーしているので、今後も継続して取り組むべきかと思います。</p>
<p>市民環境部 説明者</p>	<p>温室効果ガス削減の成果指標については、地球温暖化対策地域計画に基づき設定しています。2030年の中間目標として46%削減を掲げており、市民一人ひとりの取り組みを促すことも課題です。今年度は環境イベントを開催し、若者による身近な環境活動の発表を通じて、市民により身近に感じてもらえるような取り組みを予定しています。</p>
	<p>委員</p> <p>温室効果ガスの算出方法について、企業ではエネルギー消費から算出すると思いますが、市の算出方法について伺います。</p>
<p>市民環境部 説明者</p>	<p>温室効果ガスの排出量の推計は、環境省が示す標準的手法に従って行っています。例えば製造業では、都道府県別のエネルギー消費統計を基に新居浜市の製造品出荷額の割合で案分しています。同様に家庭部門についても世帯数を基に算定しています。</p>
	<p>委員</p> <p>今後の削減の進め方について伺います。</p>
<p>市民環境部 説明者</p>	<p>国の削減目標に沿って、本市としても設定を進めていきます。最終的には2050年のカーボンニュートラルに向けて努力していきます。今年度は太陽光発電の導入支援を個人から事業所にも拡大し、公共施設の照明改修も継続していきます。</p>
<p>委員</p> <p>市民環境部 説明者</p>	<p>新居浜市は愛媛県内でも排出量が多いと理解して良いか。また、自治体間の排出権取引については検討されているか伺います。</p> <p>排出量は産業部門が多いのが実情です。排出権取引についてはまだ検討しておりませんが、今後の課題として考えていきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>外部委員会としては、削減目標に対してどの程度の達成が見込めるのか、厳しい目標ではありますが、それを公表することで推進力を高めることも必要かと思えます。指標の設定については厳しめに設定することで、より真剣に取り組んでいただきたいと思います。事業と数値に関して指摘がないため「概ね適正な評価が行われている」とします。</p> <p>まちづくり目標 7 行政運営「7-3 効果・効率的な自治体経営の推進」 <企画部長説明></p>
<p>委員長</p>	<p>質疑応答に移ります。何かご質問等がありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケート調査の集計方法とアンケート内容「広域行政の推進」について具体的にどのような聞き方をして満足度を聞いているのか伺います。</p>
<p>企画部 説明者</p>	<p>長期総合計画における成果指標をもとにした、約90項目の市民意向調査を毎年度、無作為抽選で2000件アンケートを行っています。</p> <p>アンケートの回収率は、500～600件ほどで、35%の回答率となっています。</p> <p>広域行政の推進に関する市民満足度に関しては、両隣近隣氏である西条市、四国中央市の三市による連携推進について、市民の満足度を伺いする設問を設けさせていただいております。</p>
<p>委員</p>	<p>広域連携という言葉だけでは、事業内容を想像しにくく、アンケートの回答も「どちらともいえない」の回答になってしまうと考えられる。成果指標に入れているので、アンケートの質問の仕方も含め検討の余地があるかと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>市民満足度の取組が見えていない部分もあり、成果指標の数値についても、市民満足度と繋がりがわかりづらく、検討の余地はあるかと思えます。以上の内容から、外部委員会としての評価として「一部適正性に欠ける」とします。</p> <p>7. 閉会</p>

